

現代補綴治療の長期安定性を得るために

by Dr. Atsuo Uematsu

一般的に物事を長期的に安定させるためには、ただ慎重にメンテナンスをおこなうだけでなく、その物事を取り巻く環境の変化を敏感に察知して欠点を補い変化に対応する改良を重ねて行かなければ成功は無いと言われている。

昨今、補綴治療における術前診査、診療機器、そして歯科材料などは急速に進歩発展しつつあり、治療計画立案を三次元でおこなうことが可能となり、また歯科器材や材料などが改善・改良されるにつれて精度の高い歯科治療をおこなうことができるようになってきた。

このように現代は補綴治療を成功へ導くためにコンピュータ支援による診査診断、そしてCAD/CAMを用いた補綴物の製作が一般化してきており、近々には印象採得、咬合採得といった範囲までデジタル化することで肉眼では捉え難い範囲のズレを確認修正できるようになってくる。

しかし、このような精度の高い現代補綴治療が行われるようになったとしても補綴治療を終了した患者に長期安定性が得られるとは限らない。なぜならば、適切な治療ゴールの設定とそれを成功へ導く補綴治療計画こそがそのキーとなるからである。

今回は、SJCDの心髄ともいえる診査診断と治療ゴールの設定が現代補綴治療の長期安定性を得るために如何に重要であるか考えてみたい。 植松厚夫

植松厚夫 先生



- 1985年：神奈川歯科大学卒業；歯周病学教室助手
- 1989年：Harvard大学歯学部留学(Clinical Fellow)
- 1993年：植松歯科医院開設（横浜市港北区）
- 1999年：東京SJCD 理事
- 2003年：ITI Member
- 2005年：IDC (Interdisciplinary Dentistry Club) 設立
- 2007年：歯学博士
- 2008年：Singapore 歯科医師免許取得
- 2008年：神奈川歯科大学 客員教授
- 2009年：ウエマツ歯科医院（東京二子玉川）
- 2011年：東京SJCD 副会長
- 2014年：日本口腔インプラント学会 指導医・専門医

講師：植松厚夫 先生

日時：2015年3月29日(日)09:00～16:00

会場：熊本県歯科医師会館ホール

熊本市中央区坪井2丁目4-15

096-343-8020

費用：歯科医師8,000円/その他5,000円

(熊本及び各地のSJCD会員は5,000円/3,000円)

申込：熊本S.J.C.D.事務局

熊本市東区小峯1丁目1-95

096-331-0567(fax331-0577)

taka@ourdent.com

定員：100名 入金順。お振込をもって申込とさせていただきます

熊本SJCD主催のInservice Training も15回目を迎える事となりました。今回は、東京SJCD副会長の植松厚夫先生をお迎えして御講演いただきます。今日ではオールセラミックスクラウンの製作や、インプラント治療におけるアバットメントや上部構造の製作にはCAD/CAM技術が応用されています。また、今回のWorld Dental Showの出展内容を見ましても、Digital technologyの診療への導入は必須と言えましょう。今回のセミナーでは発展しつつあるDigital technologyの長所・短所や今後の展望を踏まえて、SJCDのコンセプトとの融合について方向性を示していただければと思います。

また今回は去る2014年7月に新潟で開催された第5回SJCD合同例会にて最優秀アワードを受賞された東京SJCD会員、中村茂人先生にも同行していただき、受賞対象となった症例報告を再演していただくことになりました。「顎位の考察を含めた包括的アプローチにより審美的改善が認められた症例」というタイトルで20分のプレゼンテーションを行っていただき、植松先生も含めた会場の皆さまとディスカッションしてみたいと思います 熊本SJCD会長 川崎俊明

オフィス名	区分	DR	他	連絡先	合計額
	会員			代表者名	円
	一般	人	人	〒 住所 電話 fax e-mail	振込先 肥後銀行佐土原支店 普通145126 熊本SJCD事務局 粟津貴昭

FAX 096-331-0577 できるだけお早めにお申し込みください